

子育ての知恵袋

「関係のあることば」



「やきいも」と聞いて、何を思い浮かべますか？「さつまいも」「やさい」「たきび」「いもほり」「ほくほく」などいろいろありますね。ことばのネットワークを広げることは、話が豊かになりますし、考える力にもつながります。

ここでは「関係のあることば」遊びを通して、どんどんことばのネットワークを広げましょう。

①『●●と言えば...』

(例)「やきいもと言えば」→「さつまいも... さつまいもと言えば」→「やさい...」
 やさいと言えば」→「トマト... トマトと言えば」→「赤」 など。

②『●●は...、○○は？』

(例)「バナナは黄色、キュウリは？」→「緑」
 「バナナは果物、キュウリは？」→「野菜」

＊ここでは前の文にあう関連語が答えになります。

～いっしょに遊ぼう～

日本語の豊かさ

日本には、漢字、ひらがな、カタカナと3種の文字がある世界でも珍しい国です。

話し言葉にはカタカナ語が増え、英語の日本語読み、造語があふれていますね。良い所を吸収して自分たちの文化に取り込む柔軟性が、この国の良い面でもあるのですが。

さて、「ねこがごふくやに」というわらべうたがあります。色当て、色オニで遊ぶのですが、色を見せると子ども達の大半がカタカナで答えるのが「ピンク」や「オレンジ」。

そこで「日本語で言って」と返すとすぐに理解する子、日本語？と混乱する子、言われてもピンクしか言葉を知らない子、など様々な子どもの様子が見られます。

「ももいろ」と誰かが言うと、そういう事かと気づきが生まれます。そうすると「オレンジ」と言っていた子達含め、「柿色」「かぼちゃ色」「みかん色」と知っている日本語を総動員し、イメージを膨らませて言うのです。素敵だと思います。

この日本語の豊かさを享受している子ども達の姿に筆者は、まだまだ未来は明るいと思うのです。

向い合って指合わせ

カク	カク	カクレン	ポ	チャワン	ニ
親指		差指		中指	
オタ	フク	スッパ	ポン		
薬指		小指			

両手を出し、指を左右交代に折っていきま
 す。順を変えて難易度を上げていきましょう。
 親指から折る → 小指から折る→
 握ったこぶしを小指から開く→
 握ったこぶしを親指から開く→
 向い合って相手の指と順に合わせていく

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなぎます
 夢と希望をもてる ためらっこを
 応援します！

宝塚市教育委員会 幼児教育センター
 〒665-8665 宝塚市東洋町1-1
 電話 0797-71-1141(市役所)
 0797-77-2132(直通)
 FAX 0797-71-1891
 E-mail m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp

11月
 ほめほめデー
 TAKARAZUKA

★ 発達、就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。